

■地域活動・お知らせ



★10月18日、第二清風園の恒例の「ハロウィンフェスティバル」を開催しました。感染対策により、出店は中止して、パネルを背景にした記念撮影とお菓子を配りました。59名のこどもたちが、奇抜なカチューシャやスーパーヒーローのコスチュームで来てくれました。検温と参加名簿への記名など、ご協力ありがとうございました。

★「ハイツ薬師台」の空き、あと1部屋になりました。管理課まで。

★オレンジリング、表紙を飾っている職員の中にも、ネームタグにオレンジリングを下げています。新入職員をはじめ、全ての職員が認知症サポーターになるための研修を受けるようにしています。認知症の方に、そして介護されている方に、もしかしたら認知症になるかもしれない方々に、少しでも寄り添う優しさと安心を抱いてくださるよう取り組んでいます。

写真下：ウッドデッキ



写真：オレンジリング

★「ウッドデッキ」の利用について、風の子公園寄り第二清風園の敷地に、20畳ほどの広さのウッドデッキがあります。新型コロナの感染対策により、建物内の会議室を地域の方々に貸し出すことを見合わせているため、ウッドデッキを使って、自主グループの皆さんが活動しています。日が差すと清々しい気持ちになり、くもりになると肌寒いです。もしよければ、利用してみませんか。お手洗いは施設内の設備を利用ください。お問い合わせは、管理課まで。

■編集後記

新しい生活様式という言葉が6月頃に聞かれはじめ、いつの間にか季節が移り変わり、朝夕の寒さが身に染みるような季節になりました。特に今年の冬は、風邪やインフルエンザ、そして新型コロナの感染に注意しながら、施設の生活様式を整えていく必要があります。まずは、室内を暖かくしながらの換気や湿度を保つことが大切と言われていますので、新たな工夫していきます。あとは感染症に負けない気持ちを持つことです。自粛や予防の持続により精神的にも弱くなりがちです。病気になるものかとりりしく思うようにして、気持ちで負けないことをモットーにしたいです。これからも、地域の皆さんとご利用者の方々が、少しでも楽しさ、優しさ、安心を感じていただけるよう、可能な範囲での地域活動を行っていきます。クリスマスに向けて、楽しみを感じられるように準備していきます。



施設長 北川達三

■第二清風園へのアクセス

お問い合わせ先はこちら

社会福祉法人 賛育会
第二清風園

〒195-0073
東京都町田市薬師台3-270-1
(代表) TEL 042-736-6906
FAX 042-736-6903
(居宅) TEL 042-736-6907
(デイ) TEL 042-736-6908



あんしん相談室
かわせみ



第二清風園News

つながろう、ひとつに。ひろげよう、笑顔を。

100th
ANNIVERSARY
地域とともに100周年

秋号
2020年11月

社会福祉法人賛育会「第二清風園」の広報誌です。



「つぼみ」の介護スタッフ 左側から 佐々木、天野、佐藤、小泉、中山、子安

特集：第二清風園の認知症の取り組みについて

～「認知症＝何もわからない」ではありません～

近年、認知症について耳にする機会が多くなっています。少しずつ認知症への理解も進んできていると感じる一方「認知症になったら何もわからない」と誤解されていると感じることもあります。

確かに、新しいことを覚えるのが苦手になったり、物事がスムーズに行えなくなったりと、周りの人の手助けが必要な場面は増えると思いますが、それは認知症に限ったことではないはずです。その人が必要としている適切で適度な関わりがあればその人らしい生活を続けることができます。そのためには認知症の理解も必要です。

当施設では、認知症の理解を深めるための研修をはじめ、地域の皆様への啓発活動や安心して過ごせる場所の提供を行っています。

今回は、第二清風園の認知症の取り組みの一部をご紹介します。

(認知症デイサービス「つぼみ」 管理者 佐々木泰介)

認知症の取り組みについて

おれんじドア町田



認知症デイサービス「つぼみ」

○認知症デイサービスとは

認知症の診断を受けた方が、住み慣れた地域でその方らしく日常生活を過ごせるよう、顔なじみの関係をつくり在宅生活ができるように支援するサービスです。



○活動

他者との関係づくりができるよう、少人数のグループ活動や趣味活動を楽しんでいただきます。



○運動

それぞれの生活環境をイメージしながら運動を取り入れています。例えば、家の前に階段がある方は階段を歩く時間を作ります。

昼食準備はみんなで行います。



○ご家族とともに

ご家族への連絡帳には文章だけでなく、多くの写真を貼って、どのように過ごしたのか、表情も伝わるようにしています。

ご家族懇談会や家族アンケートも実施して、ご家庭での様子や困りごとを伺い、在宅生活の頼れるサポーター、パートナーとなれるように専門的な視点からのアドバイスに心がけています。

○職員について

職員が認知症を自分事としてとらえるためのアンケートを実施します。どのような人に自分だったら関わってほしいかなどを明確にしていけます。お互いに共有して、そのような職員に慣れるように意識して働いています。

他施設の見学や事例検討など、適切で適度な対応（介護）について職員間で学びを深めています。

認知症の方は不安になりやすい状況にあります。つぼみでは少人数での関わり特性を活かし、不安のサインを見逃さないよう目配り・気配りをしています。また、ゆったりと自分のペースで過ごしたい方には静かな環境・周りを気にすることのないような環境面での配慮も行っています。

皆さんの素敵な写真も飾ってありますので是非一度遊びに来てください！

※新型コロナ対策期間中はデイサービス内の見学は控えていただいています

(お問い合わせは担当佐々木まで)



「もしかしたら認知症かもしれない」といった不安を抱えた方が、認知症の診断を受けた当事者の方と会話することで不安を軽減し、その後の生活を少しでも前向きに進んでいくお手伝いが出来ればというコンセプトで2015年9月から始まった集いの場です。

開催頻度は「毎月だと忘れてしまうから毎週にしよう」ということで、毎週金曜日の午後集っています。お茶を飲みながら和気あいあいと最近あった出来事を皆で話し合っています。

「ここに来ると気兼ねなく話ができるから毎週金曜日を楽しみ」と当事者の方が口にされます。

現在は、コロナ禍の中、集まるのが難しいのでZoomを使ってリモートで開催していますが、全員は参加できていません。

「毎回出なくても、ときには集まってやりたいね」という意見により、12月から月一回は自治会館をお借りするなど、対面の再開準備を進めています。

認知症サポーター養成講座

認知症について知っていただくことを目的とした講座で、自治会町内会や企業に加えて、若い世代の方たちにも理解を深めてもらいたいという思いから、中学校、高等学校でも実施しています。

実際に、当事者の方に日ごろ感じていることなどを話してもらいます。ある生徒さんは「出かける時には貰ったオレンジリングを付けて、困っている人がいたら助けてあげたい」と感想を書いてくれました。また、近隣の生徒が、道に迷っていた高齢者を第二清風園まで連れてきてくれたというエピソードもありました。

※おれんじドア町田、認知症サポーター養成講座についての詳細は、第二清風園内の鶴川第1高齢者支援センター(042-736-6927)まで。



認知症についての職員勉強会

第二清風園では、認知症についての勉強会を定期的に開催して、職員の能力向上に努めています。

10月7日(水)及び23日(金)には、東京都の認知症リーダー研修を受けた介護職員が講師となり、スピーチロック(例として、歩こうとしている方に「座っててください」と言うことは適切な声掛けではない等)の勉強会を行いました。

その人らしい生活を続けるために、私たち職員がどのように関わったらいいのか、常に学び、考えています。



社会福祉法人
養育会